



マルチデバイス接続キーボード

IC-DK01

取扱説明書

www.iclever.co.jp

この度は iClever 製品をお選びいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みいただいた後も大切に保管してください。

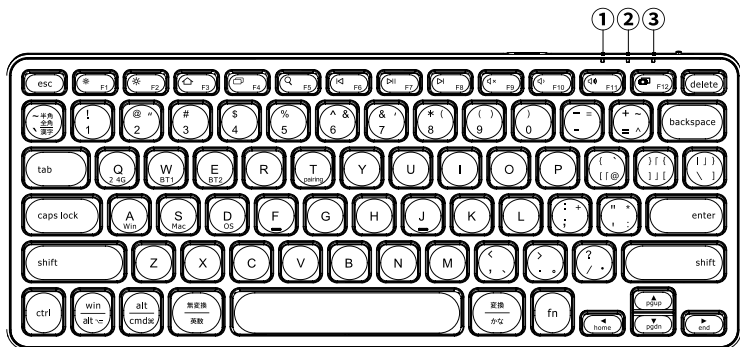
パッケージ内容

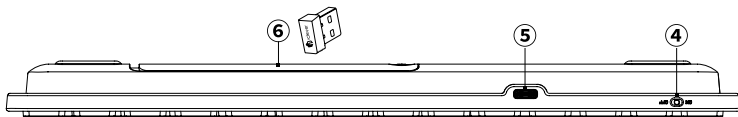
- 1 x キーボード
- 1 x USB レシーバー
- 1 x 充電ケーブル
- 1 x 取扱説明書
- 1 x 保証カード

仕様

接続方式	2.4G と Bluetooth
サイズ	285*117*22mm
接続可能な距離	10m
リチウム電池キャパシティー	300mAh
連続使用時間	90 時間
充電時間	2 時間
キーの寿命	300 万回クリック

製品概要












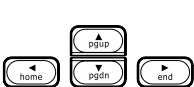






- ① 充電ランプ：充電中は赤で点灯。充電完了になると緑で点灯。バッテリー残量が少なくなるとランプが点滅します。
- ② キャプスロックランプ：「CapsLock」キーを押すと大文字・小文字を切り替えられます。（Androidシステムの場合、キャプスインジケーターが点灯しないこともあります）
- ③ 2.4G&Bluetoothチャンネルランプ：
 - 「fn」 + 「Q」 キーを同時に押すと、2.4Gワイヤレス接続に切り替えます。
 - 「fn」 + 「W」 / 「E」 キーを同時に押すと、Bluetoothチャンネル (1/2) に切り替えます。切り替え後、「fn」 + 「T」 キーを同時に押すと、ランプが点滅し、ペアリングモードに入ります。
- ④ 電源スイッチ：右方向へ切り替え（スライド）で ONになります。左方向へ切り替え（スライド）で OFFになります。
- ⑤ マイク充電ポート：充電用。
- ⑥ ストレージロック： レシーバー内蔵。

キーボード機能

下記の表では、各オペレーティングシステム用の特別なキーの組み合わせについて説明しています。

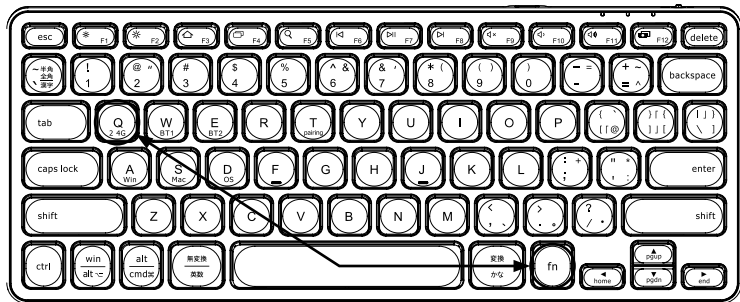
ファンクションキー	iOS	Android	Windows 10	MacOS	Windows あるいは MacOS
使用方法	直接押す	直接押す	直接押す	直接押す	Fn+ を押す
	明るさダウン	明るさダウン	明るさダウン	明るさダウン	F1
	明るさアップ	明るさアップ	明るさアップ	明るさアップ	F2
	ホーム	ホーム或いは N/A	ウェブブラウザ	ミッションコントロール	F3
	アプリ切り替え	アプリ切り替え或いは N/A	アプリ切り替え	アプリ切り替え	F4
	検索	ブラウザで検索或いは N/A	検索	検索	F5
	曲戻し	曲戻し	曲戻し	曲戻し	F6
	再生 / 一時停止	再生 / 一時停止	再生 / 一時停止	再生 / 一時停止	F7
	曲送り	曲送り	曲送り	曲送り	F8
	静音	静音	静音	静音	F9
	ボリューム -	ボリューム -	ボリューム -	ボリューム -	F10
	ボリューム+	ボリューム+	ボリューム+	ボリューム+	F11
	スクリーンショット	スクリーンショット或いは N/A	スクリーンショット	スクリーンショット	F12

特別なキー	説明
	fn キーは特別な機能を実現するために他のキーと組み合わせで使用します。
	チャンネル切り替え機能: 「fn」 + 「Q」を同時に押すと、2.4G チャンネルに切り替えます。
	チャンネル切り替え機能: 「fn」 + 「W」を押すと、Bluetooth チャンネル 1 に切り替えます。
	チャンネル切り替え機能: 「fn」 + 「E」を押すと、Bluetooth チャンネル 2 に切り替えます。
	ペ어링機能: 「fn」 + 「T」を押すと、Bluetooth ペ어링モードに入ります。
	システムが Windows モードに切り替えられると、win として機能します。 システムが iOS / Mac OS モードに切り替えられると、option として機能します。
	システムが Windows/Android モードに切り替えられると、alt として機能します。 システムが iOS/Mac OS モードに切り替えられると、command として機能します。
	システムが Windows モードに切り替えられると、無変換として機能します システムが Mac OS モードに切り替えられると、英数として機能します。
	システムが Windows モードに切り替えられると、変換として機能します。 システムが Mac OS モードに切り替えられると、かなとして機能します。
	「fn」 +  を押すと、pgup ページアップとして機能します。 「fn」 +  を押すと、pgdn ページダウンとして機能します。 「fn」 +  を押すと、home として機能します。 「fn」 +  を押すと、end として機能します。



A.2.4G ワイヤレス接続手順:

1. キーボード裏側のストレージスロットを開けて、USBレシーバーを取り出してください。
2. キーボードのスイッチを右方向へ切り替え（スライド）で ON にしてください。
3. USBレシーバーを PC のポートに差し込んでください。
4. 「fn」+「Q」を同時に押すと、2.4Gチャンネルに入ります。

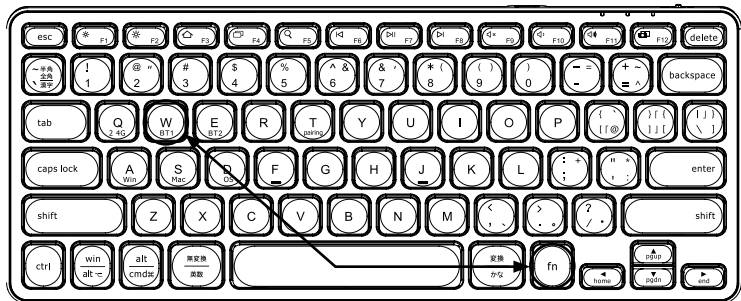


5. 「fn」 + 「A」/「S」を押して、対応する Windows/MacOS に切り替えます。

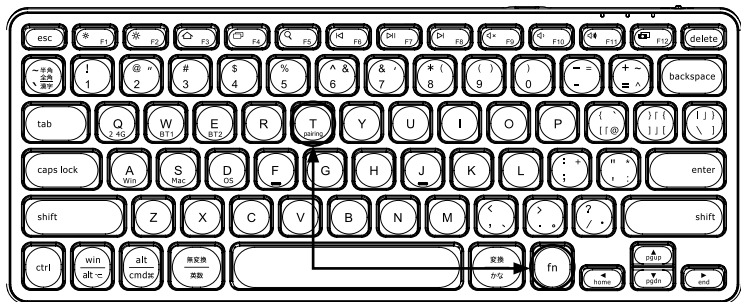
B. Bluetooth 接続手順

1台目のデバイスのペアリング

1. キーボードのスイッチを右方向へ切り替え（スライド）で ON にしてください。
2. 「fn」 + 「W」を同時に押すと、Bluetoothチャンネル 1に入ります。



3. 「fn」+「T」を同時に押すと、ランプが点滅し、ペアリングモードに入ります。



4. お使いのデバイスの Bluetooth 機能を有効にし、接続可能なデバイスを検索します。「iClever BT3.0 KB」/「iClever BT5.0 KB」が表示されたら、クリックして 接続します (Bluetooth4.0以降のデバイスの場合、「iClever BT5.0 KBをクリックして接続します)。
5. 「fn」 + 「A」 / 「S」 / 「D」を押して、対応する Windows&Android/MacOS/iOSに切り替えます。

2 台目のデバイスのペアリング

1. キーボードのスイッチを右方向へ切り替え（スライド）で ON にしてください。
2. 「fn」+「E」を同時に押すと、Bluetooth チャンネル 1 に入ります。
3. 「fn」+「T」を同時に押すと、ランプが点滅し、ペアリングモードに入ります。
4. お使いのデバイスの Bluetooth 機能を有効にし、接続可能なデバイスを検索します。
「iClever BT3.0 KB」/「iClever BT5.0 KB」が表示されたら、クリックして接続します（Bluetooth4.0 以降のデバイスの場合、「iClever BT5.0 KB」をクリックして接続します）。
5. 「fn」+「A」/「S」/「D」を押して、相応する Windows&Android/MacOS/iOS に切り替えます。

ご注意：

1. 各チャンネルは 1 つのデバイスとのみペアリングできます。
2. 自動接続機能：最後に使用したデバイスと自動的に接続します。
3. Bluetooth ペアリングに失敗した場合は、下記の手順に従って操作してください。
(1) お使いのデバイスに表示されている Bluetooth 接続履歴「iClever BT3.0 KB」と「iClever BT5.0 KB」を削除してください。
(2) お使いのデバイスの Bluetooth をオフにした後、再度オンにしてください。

C. 接続された 3 つのデバイスを切り替えるには？

「fn」+「Q」/「W」/「E」を同時に押して切り替えます。

注意：接続されたデバイス間を切り替えるとき、「Fn」+「T」を押さないでください。

押すと、再度ペアリングモードに入ります。

D. Bluetooth チャンネルの再設定をするにはどうしたら良いですか？

ステップ 1. 「fn」+「W」/「E」を押して、再ペアリングする Bluetooth チャンネルを確認します。

ステップ 2. 「fn」+「T」を押すと、ペアリングモードに入ります。

ステップ 3. お使いのデバイスの Bluetooth 機能を有効にし、接続可能なデバイスを検索します。「iClever BT3.0 KB」/「iClever BT5.0 KB」が表示されたら、クリックして接続します（Bluetooth4.0 以降のデバイスの場合、「iClever BT5.0 KB」をクリックして接続します）。

ステップ 4. 「fn」+「A」/「S」/「D」を押して、相応する Windows&Android/MacOS/iOS に切り替えます。

言語切り替え

iOS 9 あるいはそれ以降のシステム : ctrl + space

Mac OS: ctrl + space

Windows 7: ctrl+ shift / alt + shift / caps lock

Windows 10: win + space / alt + shift / caps lock

注意: Android 端末は機種ごとに切り替え方法が異なります。端末画面にて手動で言語を切り替えることをおすすめします。もしくは、下記の方法を試してみてください:

ctrl+space/shift+space/win+space/alt+space/esc/capslock/capslock+tab/esc+alt

対応システム

iOS 10.0 以降

Mac OS X 10.6 to Mac OS X 10.12 以降

Windows XP / Vista / 7 / 8 / 10 (Bluetooth 機能あり)

Android 8.0 あるいはそれ以後のシステム (Bluetooth 機能あり)

注: Samsung Smart TV、XBOX、Nokia phones、Mac mini とは互換性がありません

Q: 2.4G 接続の問題のトラブルシューティング

1. 製品またはレシーバーが、ハブ、エクステンダー、スイッチまたは類似のものでなく、コンピュータに直接接続されていることを確認します。
2. デバイスを USB レシーバーに近づけます。レシーバーがコンピュータの背面にある場合、レシーバーを前面のポートに移動させることで問題が解決する場合があります。場合によっては、レシーバーの信号がコンピュータケースによってブロックされ、遅延が生じることがあります。
3. 他のワイヤレス電気機器を USB レシーバーから離して、干渉を避けます。
4. ハードウェアのペアリング解除 / 再ペアリングまたは接続解除 / 再接続を行います：
5. Windows のみ — Windows updates がバックグラウンドで実行していないか確認します。これが遅延の原因である可能性があります。
6. Mac のみ — バックグラウンドで更新が実行されていないか確認します。これが遅延の原因である可能性があります。
7. 同様の問題が起こるか、別のコンピュータ上で試します。

Q: 機器と接続できない

ステップ 1. 下記の手順に従って操作してください。

- キーボードを 30 分程充電してください。
- お使いのデバイスに表示されている Bluetooth 接続履歴「iClever BT3.0 KB」と「iClever BT5.0 KB」を削除してください。削除後、お使いのデバイスを再起動してください。
- お使いのデバイスの Bluetooth をオフにした後、再度オンにしてください。
- お使いのデバイスとキーボードの距離をできる限り近づけてください（30cm 以内）。
- ご使用の際に周囲の金属やその他のワイヤレス信号源から遠ざけてください。（20cm 以上）

ステップ 2. 「ペアリング手順」に従って再接続をしてください。

Q: 表示された符号が入力したものと異なる

英語キーボードに切り替えて、物理キーボードと仮想キーボードの入力方法が同じであることを確認してください。

Windows と Mac OS の場合、仮想キーボードの入力方法が日本語ローマ字または英語 (US) モードであることを確認してください (言語切り替え方法: Windows 10 は win+space、Mac OS は ctrl+space です) 。

Android と iOS の場合、接続された後、物理キーボードと仮想キーボードの入力方法を日本語に設定してください。

物理キーボード設定方法:

iOS の場合: 設定 > 一般 > キーボード > キーボード > 新しいキーボードを追加 > 使いたい言語を選択 → 日本語

Android の場合: 設定 > コントロール > 言語と入力 > Samsung キーボード > 入力言語の選択 > 使いたい言語を選択 → 日本語

仮想キーボードの設定方法:

iOS の場合、ctrl+space を押して、日本語ローマ字に切り替えてください。

Android の場合、端末画面にて手動で日本語に切り替えてください。

Q: 「¥」と「_」記号の入力方法

A: window、Mac OS、Android システム環境では、日本語入力モードで、「fn」+「N」を同時に押すと、「¥」を入力できます。「fn」+「M」を押すと、「_」を入力できます。

iOS の場合、「fn」+「ctrl」を同時に押すと、仮想キーボードが出てきます。仮想キーボードから「¥」と「_」記号を選択します。

注意: 液体やホコリなどがキーボードの隙間に入らないよう十分にご注意ください、故障の原因になります。

カスタマーサービス

E メール: support@iclever.co.jp